

地域医療研修レポート

名古屋第一赤十字病院 研修医 2 年目

今回の研修では、初診外来と救急車対応、入院患者さんの診療を中心に経験させていただきました。毎日の初診外来では、様々な年齢の様々な主訴の患者さんが来院されました。問診、身体診察、検査、治療方針などを指導医の先生と考えながら多くのことを経験させていただきました。普段の救急外来では、診察した患者さんは後日専門外来の先生やかかりつけ医にフォローをお願いしてしまいますが、今回の研修では自分で再診予約をとり、どのような経過を経るかなど状態を確認することができ良い経験となりました。また、毎日初診外来で診察した患者さんの振り返りをして、さらに何に注目して問診をするべきだったか、身体所見をとるべきだったかなど丁寧に教えていただき、足りない部分を再認識することができ大変勉強になりました。

入院管理では、90歳以上の高齢の方も多いため入院のきっかけとなった疾患の医学的な治療のみで退院時期を決めるのではなく、帰宅後の生活環境などをご本人とご家族とも相談して決めていくことが大切でした。そして、どのような医療制度を使うかなどもMSWの方などとも相談する必要があるとチームとしての医療が重要だと感じました。

外部研修では、作手診療所に行かせていただきました。診療所では、病院とは違い限られた施設の中で診察し、診療所でみることができるか、すぐに病院に紹介し検査をするべきなのかを適切に判断しなければならないため、診療の難しさを感じました。また、診療所のスタッフの方々と患者さんが顔なじみになっており、どのような疾患を抱えているかや家族背景なども把握していて患者さんとの信頼関係が築けていると感じました。診療所ならではの診療を見学することができ、とても勉強になりました。

1カ月という短い期間でしたが、研修病院のみでは学ぶことのできない多くの経験をさせていただきました。また、先生方やスタッフの方々には様々なアドバイスをいただき、気さくに分からないことを教えていただくなど大変お世話になりました。今回の研修での経験を活かして今後も診療していきたいと思っております。ありがとうございました。